

2020年5月号(第4月20日発行)3月19日発売 第18巻第3号 平成16年4月16日第3種郵便物認可

フランス人に春からのおしゃれ計画を取材

KU:nel

あなたの人生をもっと豊かにしてくれる

17人のリアルストーリー

いま始めたこと
ずっと続けていること

第2特集

お弁当の世界はもつとおいしく、もつと楽しい



新しく始めたことが
人生のドアを開いた



特別定価 900円
「クウネル」

5月号 2020

正統派のお菓子には、
長く愛される理由があります。

「コンビニのスイーツだって気になる」という甘いもの好きな猪本さん。
「こそ」というときには、名店の代名詞的なお菓子で盛り上げます。
日々のおやつでも、大好きなのは老舗の味。

▽猪本典子さん デロリーター



差し上げ菓子

THE GRAND GINZA の
苺のミルフィーユ

「銀座マキシム」の伝統的スイーツを初代パティシエ監修のもと再現。コフレットの香り漂うカスタードとくさくさい生地は、贅沢で上品な味。※1日20台限定。1台 ¥6,480。ハーフサイズ（写真） ¥2,400。いちごも苺も THE GRAND GINZA / 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 13階 ☎03-6263-0740



普段のおやつ

草月の黒松

創業90年の老舗和菓子店、黒砂糖とはちみつを使った皮が特徴のどら焼きは東京を代表する人気の菓子。「ふんわりした、まだら模様の皮がとにかくおいしい」。1個 ¥120。草月 / 東京都北区東十条7-15-16 ☎03-3914-7530



PROFILE

いものとりこ

高校で日本画。大学で染色を学ぶ。主に植物や料理を題材にコレクト。自ら作品撮影も手がける。『ニッポン弁当』（宝島社）など著書多数。

珍

おいしい味、新しいもの、さまざまなお菓子に精通しています。そのアンテナはコンビニのお菓子にだって巡っているというから驚きです。

「新聞を買いにコンビニに行くのですが、そこでお菓子コーナーも覗くのが日課」。そんな猪本さんが「差し上げ菓子」として挙げてくれたのは「グラン銀座」の苺のミルフィーユ。惜しまれつつ閉店した老舗フランス料理店の看板メニューを再現したものです。「知人のレストランで開かれる誕生会などの差し入れに、『あのマキシムのミルフィーユ』って、場が盛り上がるんです」

普段のおやつには、気軽なら焼きをリストアップ。「どら焼きって、それぞれお気に入りの店がありますよね」。猪本さんは、黒糖の香りを感じるふんわり生地に、ふくよかなあんをたっぷりはさんだ「草月」の黒松が好き。「ケーキは1個だけでテイクアウトしづらいんですけど、和菓子は少量でも買いますので、自宅菓子はおっぱらと和菓子なんです」

